

フィンランド語初級講座③

「主語と補語」

関連する他の動画

「フィンランド語文法：初級⑧」

「フィンランド語：重箱の隅⑦」

「フィンランド語：重箱の隅⑧」

資料掲載サイト

「フィンランド語との対話」 [<https://yoshidakingo.com/>]

フィンランド語初級③：「主語と補語」テキスト

① Asunnossa on eteinen, olohuone, makuuhuone, keittiö ja kylpyhuone sekä vessa. Keittiössä on jääkaappi. Jääkaapissa on maitoa, lihaa ja kalaa. Pöydällä on kahvikuppi. Kupissa on kahvia.

住まいには | ある | 玄関口が |、居間が |、~~心室~~寝室が |、台所が | そして | 浴室が | さらに | トイレが。台所には | ある | 冷蔵庫が。冷蔵庫の中には | ある | 牛乳が |、肉が | そして | 魚が。テーブルの上には | ある | コーヒーカップが。カップの中には | ある | コーヒーが。

② Minulla on kysymys. Onko sinulla aikaa?

私には | ある | 質問が。あるか | あなたには | 時間が。

③ Minä olen Laura, olen 60-vuotias. [...] Minun ammatti on lähihoitaja. Minun äidinkieli on tanska, puhun myös englantia, vähän espanjaa ja suomea. [...] Karitalla ja Omarilla on koira, sen nimi on Pablo. (Koto-Suomi, 29)

私は | である | Laura |、私は～である | 60歳の。 [...] 私の | 職業は | である | 准看護師(?)。私の | 母語は | である | デンマーク語 |、私は話す | また | 英語を |、少し | スペイン語を | そして | フィンランド語を。 [...] Karita には | そして | Omar には | いる | 犬が、 | それの | 名前は | である | Pablo。

④Tarjoilija tuo Sannalle ja Tuomolle viinilasit ja kaataa viiniä Tuomon lasiin. Tuomo maistaa, että viini on **hyvää** ja nyökkää tarjoilijalle. (Oikeesti aikuisten 1, 68)

給仕は | もってくる | Sanna へ | そして | Tuomo へ | ワイングラスを |
そして | 注ぐ | ワインを | Tuomo の | グラスへ。Tuomo は | 味わう |、
すると | ワインは | である | おいしい | そして | うなづく | 給仕へ。

④Kodin ja päiväkodin yhteistyö on **tärkeää**, koska hyvä suhde tukee lapsen kehitystä. (Syo, 94)

家庭の | そして | 保育園の | 協力は | である | 重要な |、なぜなら | よ
い | 関係は | 支える | 子どもの | 成長を。

⑤ Noin 700 vuotta sitten, 1300-luvulla Suomi on osa Ruotsia. Suomi on Ruotsin osa noin 500 vuotta. Silloin Suomeen muuttaa Ruotsista ihmisiä. Venäjä ja Ruotsi ovat välillä sodassa. Elämä on vaikeaa. (Oikeesti aikuisten 1,75)

約 | 700 | 年 | 前 |、1300 年代に | フィンランドは | である | 一部 | スウェーデンの。フィンランドは | である | スウェーデンの | 一部 | 約 | 500 | 年。そのとき | フィンランドへ | 移る | スウェーデンから | 人々が。ロシアは | そして | スウェーデンは | いる | ときどき | 戦争の中に。生活は | である | 難しい。

フィンランド語初級③：「主語と補語」解説

I. 名詞の種類

●フィンランド語では名詞を二つのグループに分類できる。

①分けられない名詞（個体名詞）

= 明確な境界線があり、定まった形がある

= 数えることができる（可算名詞）

たとえば、ihminen「人間」、pyörä「自転車」、kynä「ペン」など

*ただし分けられない名詞でも複数形になれば「分けられる」

ihmiset「人々」、pyörät「(何台かの) 自転車」

kynät「(何本かの) ペン」

②分けられる名詞（物質名詞や抽象名詞など）

＝明確な境界線がなく、定まった形がない

＝数えることができない（不可算名詞）

たとえば、

物質名詞：vesi「水」, öljy「油」, suklaa「チョコ」, liha「肉」

抽象名詞：rakkaus「愛」, onnellisuus「幸福」, työttömyys「失業」

* *Iso Suomen Kielioppi* 『大フィンランド語文法』の中の説明（筆者修正）

分けられ**る**ない： kynä + kynä ≠ kynä（kynäの集合）

分けられ**ない**る： vettä + vettä = vettä（vesiの集合ではない）

II. 名詞の種類と主語

- 所有文や存在文の主語が「分けられない名詞」⇒ 主格

Minulla on **kissa**. 私はネコを飼っている。

Huoneessa on **pöytä**. 部屋の中にはテーブルがある。

- 所有文や存在文の主語が「分けられる名詞」⇒ 分格

Minulla on **viiniä**. 私はワインもっている。

Jääkaapissa on **lihaa**. 冷蔵庫には肉が入っている。

- 所有文や存在文が否定の場合には、主語 ⇒ 分格

Minulla ei ole **kissaa**. 私はネコを飼っていない。

Huoneessa ei ole **pöytää**. 部屋の中にはテーブルはない。

- 所有文や存在文の主語が複数形 = 「分けられる名詞」⇒ 複数分格

Minulla on **kissoja**. 私は何匹かの猫を飼っている。

Huoneessa on **pöytiä**. 部屋の中にはいくつかのテーブルがある。

- *主語が複数形でも一つのまとまりを表す場合 ⇒ 複数主格

Minulla on **uudet kengät**. 私は（一足の）新しい靴をもっている。

Ⅲ. 名詞の種類と補語

●補語とは「～です」の「～」に入る言葉

●主語が「分けられない名詞」⇒ 補語は主格

Kissa on **punainen**. そのネコは赤い。

Pöytä on **vanha**. そのテーブルは古い。

●主語が「分けられる名詞」⇒ 補語は分格

Viini on **punaista**. そのワインは赤い。

Elämä on **ihanaa**. 人生は素晴らしい。

●主語が複数形 = 「分けられる名詞」⇒ 補語は複数分格

(Me) olemme **suomalaisia**. 我々はフィンランド人だ。

Kissat ovat **söpöjä**. ネコたちはかわいらしい。

*主語が複数形でも一つのまとまりを表す場合 ⇒ 補語は複数主格

Uudet kengät ovat **punaiset**. (一足の) 新しい靴は赤い。